

新年を迎えて

山口県議会議長 柳居俊学

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと、謹んでお慶びを申し上げます。

私は、昨年5月、県議会議長に再び選任いただいて以来、皆様の温かいご支援ご協力のもと、初心に立ち返り、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりました。新たな年を迎え、県議会が皆様にとりまして、これまで以上に身近な存在となりますよう、様々な取り組みを積極的に進めてまいる決意であります。

さて、昨年を振り返りますと、古くから山岳信仰や芸術の対象として日本文化の象徴的存在であった富士山が、世界遺産に登録されたことをはじめ、2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致決定や、アベノミクス効果による景気浮揚など、国内外の注目を集める喜ばしいニュースが続きました。

本県では、最優先課題である「産業力・観光力の増強」を図る取り組みが相次いで本格始動しましたが、8月に皇太子殿下をお迎えして開催された「日本ジャンボリー」が大成功に終わり、来る2015年の「世界スカウトジャンボリー」に向けた機運が大いに高まるなど、山本知事の目指す「輝く、夢あふれる山口県」の実現に向け、歩みを着実に進めた一年となりました。

一方、7月に県北部で発生した大雨被害に対して県議会は、県執行部と一体となり、国や関係自治体、そして多くのボランティアの方々とともに、被災された方々の救済や災害の早期復旧に向け、全力で取り組んでまいりました。2009・2010年と連続して発生した未曾有の豪雨災害も踏まえますと、常日頃から土砂災害や河川の氾濫などに備え、ハード・ソフト両面からの万全の防災・減災対策を講じておく必要性を痛感したところであり、今後は、県執行部が急ぐ「再度災害防止」の取り組みをしっかりと注視してまいります。

今年の干支は「午」、動物に当てはめると「馬」です。馬は古くから人と共にあり、運搬、農耕などに使われてきましたが、その瞳孔は横長で、顔の左右に目が付いているため、視野が350度もあると言われています。

県議会といたしましても、常に県民の皆様寄り添いながら、広い視野でしっかりと県の将来を見据え、津々浦々からの皆様のご意見や思いを的確に、かつ、時機を失することなく県政にお届けできるよう、誠心誠意努めてまいります。

また、これまで県議会自らが、改革の名のもとに取り組んでまいりました透明性の確保や政策立案能力の向上については、より一層前に進めてまいります。

具体的には、本県議会五例目の議員提案条例となる「がん対策推進条例」の制定に向けて検討に着手したことをはじめ、本県の危機的な人口減少問題に真正面から取り組み、生産年齢人口の流出防止策や出産・子育て支援策などを提言していく特別委員会の設置、来年に予定される次期県議会議員選挙に向けた議員定数の見直し、さらにはインターネットを經由した情報提供の充実など、様々な取り組みを通じて、皆様にわかりやすく、親しみを持っていただける県議会を目指し、自己改革を続けてまいります。

県民の皆様には、どうか、県議会に対しまして変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、2014年が、皆様にとりまして明るく、実り多き年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。